

# 稲作情報 No.7

平成28年8月2日  
南魚沼地域農業振興協議会  
南魚沼農業普及指導センター

## 【8月1日現在の生育状況と気象予報】

- コシヒカリの生育は指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多」、葉色は「並」となっています。
- 気象庁の予報では、8～9月は平年より暑くなる見込みです。

## 【品質向上のポイント】

### ～出穂期前後は十分にかん水を！～

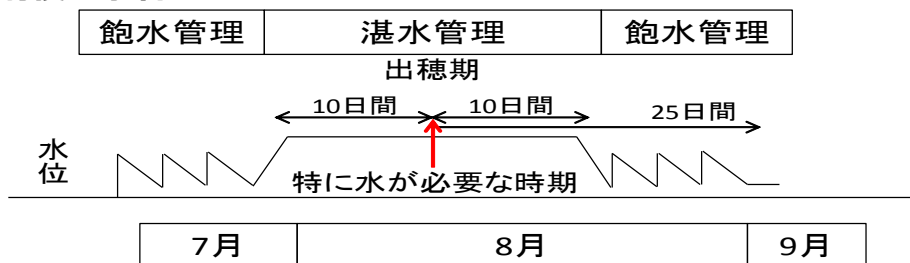
#### ○出穂期前後の水管理

- ・ 幼穂形成期から開花期前後まで、水稻が最も水を必要とする時期です。出穂期10日前から出穂期10日後まで、特に水を切らさないよう管理しましょう。
- ・ 根の機能を維持し、後期栄養を確保するため飽水管理を出穂25日後まで行いましょう。
- ・ フェーンや異常高温時には速やかに湛水し、障害の発生を防止しましょう。
- ・ 水を無駄にしないよう、用排水路の点検・整備を行い、水路や畦畔などからの漏水防止につとめ、掛け流しは止めましょう。

## 1 8月1日現在の生育状況 (管内調査地点の平均、〈〉内数値は指標値比)

草丈：( 93 cm < 112 % > )	茎数：( 383 本/m <sup>2</sup> < 105% > )
葉数：( 13.5 葉 < +0.8 > )	葉色：(SPAD値 31.9 < +0.4 > )

## 2 出穂期前後の水管理のイメージ



## 3 3回目の穂肥対応

- (1) 穂肥を施用しても葉色が低下し、出穂期の葉色がSPAD値で32(葉色板3.0：群落)を下回る恐れがある場合は、出穂期の3日前(走り穂の頃)までに硫安等の速効性肥料を窒素成分1kg/10aを上限に施用しましょう。
- (2) 一発基肥の場合であっても、出穂期の葉色がSPAD値で32(葉色板3.0：群落)を下回る恐れがある場合は、同様に対応しましょう。
- (3) 草丈が長く、葉色の濃い場合は倒伏の恐れがあるため3回目の穂肥は不要です。

## 4 カメムシ類対策

アカヒゲホソミドリカスミカメ等のカスミカメ類が多く発生しています。出穂前までの畦畔等の除草と出穂後の薬剤防除を徹底しましょう。

南魚沼地域振興局農林振興部普及課 作物担当  
電話 772-3337/FAX 772-2612